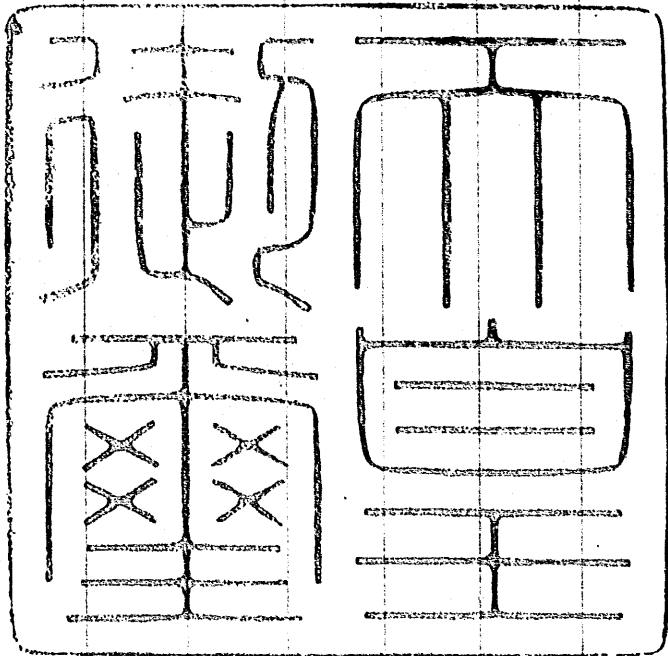


條約第一號

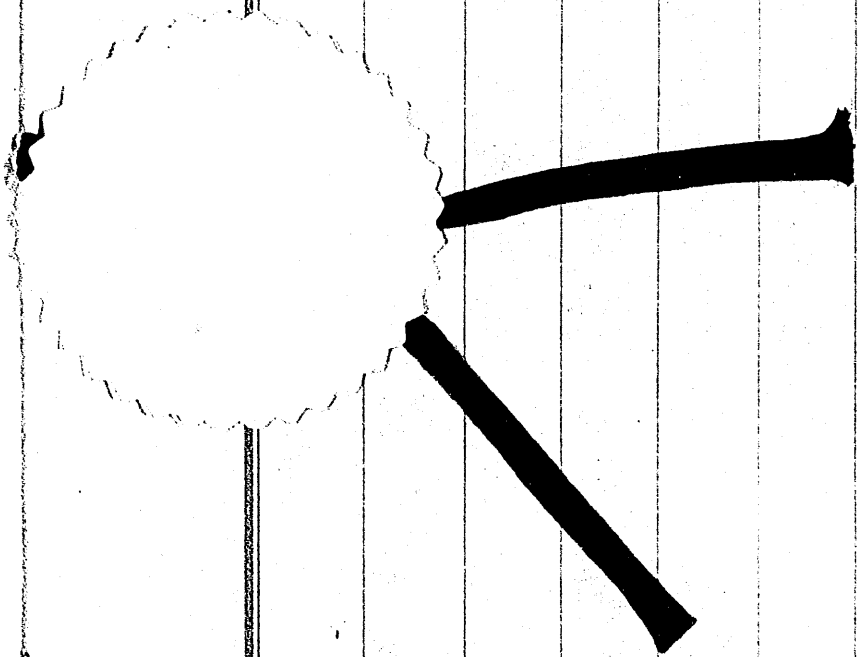
朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ日本帝國及比  
律賓群島間郵便為替交換約定ヲ裁可シ  
茲ニ之ヲ公布セシム

嘉加仁



大正十年二月十日

内閣總理大臣 野田 賢二  
逓信大臣 野田 賢二



條約第一號

日本帝國及比律賓群島間郵便為替交  
換約定

日本帝國逓信省及比律賓群島郵務局ハ  
兩國間ニ郵便為替ヲ交換スルコトヲ希  
望シ下ニ署名スル者ハ之カ為各相當ノ  
權限ヲ與ヘラレ左ノ諸條款ヲ協定シタ  
リ

第一條

日本帝國ヨリ比律賓群島ニ又比律賓郡

島ヨリ日本帝國ニ郵便爲替ニ依リ送金  
ヲ爲スコトヲ得

第二條 通貨最高額裏書讓渡

一 郵便爲替ノ金額ハ雙方トモ亞米利  
加合衆國ノ通貨ヲ以テ之ヲ表示ス  
ヘシ

各締約郵政廳ハ其ノ振出ス爲替ニ  
適用スヘキ換算割合ヲ隨時定ムル  
ノ權能ヲ有ス其ノ割合ハ他方ノ郵  
政廳ニ通知スヘキモノトス

尤モ受取人ニ對スル爲替拂渡ニ付  
テハ合衆國通貨一弗ハ日本貨幣ニ  
圓又ハ比律賓通貨ニ「ペソ」ニ均シキ  
モノト看做スヘキコトヲ協定ス但  
シ日本郵政廳ハ該割合カ自廳ノ利  
益ニ損害ヲ及ホスヘキトキハ比律  
賓群島振出爲替ノ拂渡ニ別異ノ割  
合ヲ適用スルコトヲ得其ノ割合ハ  
比律賓郵政廳ニ通知スヘキモノト  
ス

二 郵便為替一口ノ最高額ハ合衆國通  
 貸一百弗トス但シ兩郵政廳ノ協議  
 ニ依リ之ヲ増昂スルコトヲ得  
 為替金額ニハ一仙未滿ノ端數ヲ附  
 スルコトヲ得ス

三 各郵政廳ハ他方ノ疆域ヨリ發スル  
 為替ノ權利ヲ其ノ疆域内ニ於テ裏  
 書ニ依リ讓渡スルコトヲ許可スル權  
 利ヲ留保ス

第三條 料金、歩合金

一 為替料ハ振出國ニ於テ之ヲ定メ本  
 約定ニ依ル各送金額ニ付差出人ヨ  
 リ之ヲ徵收ス

二 各郵政廳ハ本條ノ規定ニ依リ定ム  
 ル為替料金率ヲ他方ノ郵政廳ニ通  
 知スヘシ爾後之ヲ變更シタルトキ  
 亦同シ

三 本約定ニ依リ振出シタル郵便為替  
 ノ拂渡ヲ受クル權利ヲ有スル者ハ  
 如何ナル名義ニ依ルモ其ノ拂渡ニ

關シ何等ノ料金又ハ公課ヲ徵收セ  
ラルルコトナシ

四 振出郵政廳ハ拂渡郵政廳ニ對シ拂  
渡爲替總金額ノ四百分ノ一ノ歩合  
金ヲ支拂フヘシ

第四條 責任請求ヲキ爲替

一 郵便爲替ノ金額ハ受取人又ハ具ノ  
代理人ニ正當ニ拂渡ヲ了スル迄差  
出人ニ對シ之ヲ保障ス

二 尤モ爲替ノ誤拂ヲ理由トスル請求

ハ當該爲替ノ通常有効期間滿了ノ  
日ヨリ一年内ニ限り之ヲ受理ス此  
ノ期間滿了後ニ於テハ誤拂ニ對ス  
ル郵政廳ノ責任ハ消滅ス

三 權利ナキ者ニ爲替ノ拂渡ヲ爲シタ  
ル場合ニ於テ誤拂ヲ爲シタル郵政  
廳ハ左ノ事項ヲ證明スルトキハ之  
ニ對スル責任ヲ免ルルモトス  
第一 拂渡郵政廳ノ規則ニ受取人  
ノ本人タルコトヲ確認スル

ニ足ル規定アルコト

第二 前號ノ規則所定ノ條件ニ依

リ拂渡ヲ為シタルコト

四 郵便為替ニ對スル受入金額ニシテ

振出國ノ法令ヲ以テ定メタル期間

滿了前ニ權利者ヨリ請求ナキモノ

ハ振出郵政廳ニ確實ニ歸屬ス但シ

振出郵政廳ハ此ノ期間滿了前ニ差

出人ニ該金額ノ拂戻ヲ為スニ必要

ナル措置ヲ執ルヘシ

### 第五條 内國規則

兩國間ノ郵便為替ハ振出ニ關シテハ振

出國ノ現行規則ニ又拂渡ニ關シテハ拂

渡國ノ現行規則ニ依ルヘシ

### 第六條 計算差額

一 締約郵政廳間ニ交換シタル為替ノ

總計算書ハ日本郵政廳ニ於テ之ヲ

作成スヘシ總計算書ヲ作成スヘキ

時期其ノ他ノ條件ハ第八條第二項

ニ依ル細則ヲ以テ之ヲ定ム

二 計算書ノ差額ハ常ニ紐育宛一覽拊  
爲替手形ヲ以テ合衆國通貨ニテ  
之ヲ支拂フヘシ

第七條 業務ノ停止

各郵政廳ハ兩國間ノ郵便爲替業務ヲ停  
止スルヲ至當ナリトスル非常ノ場合ニ  
於テハ一時其ノ全部又ハ一部ヲ停止ス  
ルコトヲ得停止ヲ爲シタルトキハ直ニ  
之ヲ他方ノ郵政廳ニ通知スルモトス  
必要ト認ムルトキハ電信ニ依ルヘシ

第八條 郵便爲替取扱局細則

一 兩郵政廳ハ各自本約定ノ規定ニ依  
ル爲替ノ振出及拂渡ヲ取扱フヘキ  
郵便局ヲ指定スヘシ

二 兩郵政廳ハ協議ノ上爲替券式紙爲  
替ノ送達方法、計算書式紙其ノ他總  
テ本約定ノ施行ヲ確實ニスル爲必  
要ナル細則ヲ規定スヘシ

第九條 約定ノ有効期間

本約定ハ兩郵政廳ノ協議ヲ以テ定ムル



日ヨリ之ヲ施行シ締約者ノ一方カ之ヲ  
廢止セムトスル旨ヲ他方ニ通告シタル  
時ヨリ尚一年間其ノ效力ヲ持續スヘシ  
此ノ最終一年間ハ約定ハ引續キ完全ニ  
施行セラレ該期間滿了後ト雖計算ノ整  
理及決濟ヲ爲スコトヲ妨ケス

大正九年九月十七日日本東京ニ於テ及  
千九百二十一年一月三日比律賓群島「マ  
ニラ」ニ於テニ通ヲ作成シ之ニ署名ス

日本帝國遞信大臣野田卯太郎

比律賓群島政府郵務局長官代理「マニラ」